

33rd 東京学生映画祭

2022.8.20-8.21
@EuroLive

宇宙
でいちばん
純
粋。

東京学生映画祭

E. プログラム

8/21

(日)

16:35

"100点"に1番近い時間を、最期までキミを。



10歳の少女ツキは生まれた時からずっと一緒に暮らしていた朝い猫のミミを亡くすが、実感が湧かず火葬場の煙を見つめ立ち尽くしていた。しかし、ふと気がつくとツキは水辺のほとりにて、ミミにそっくりな病のネコという不思議な存在と出会う。困惑しているツキにネコは「大丈夫! これからツキちゃんのこと僕がお家まで送るから」と言い、ツキの手を取り2人は旅に出るが…。

『COMPASS』

監督:荒川ちか

日本大学/2021/15min



車のなか、ふたり。



車に乗るある男女の会話。
カーラジオからは2人の思い出のラジオが流れている。

『私はたぶん絶対にかわいい』

監督:堀内友貴

東放学園映画専門学校/2022/15min

C地点から見る、クラスのあの子



同じ高校で仲良くなったジンとナナとコウ。当たり障りのない生活が過ぎる日々、ある日捕獲をさぼって海に来た3人。そこでジンはナナが彼氏を殺す夢を見る。クラスにいる普通の子、少し変わっているなどしか認識していなかったあの子の話。

『C地点旅行記』

監督:松本帆乃夏

武蔵野美術大学/2022/36min



止まらない自分との対話



自分の感覚が鈍ってきていることに彼女はいち早く気づいていた。ここ数日、人と話をしそうたのかもしれない、ひとりでいるのの人といるのも両方好きなのに、結局ひとりに戻りたくなる自分が孤独が好きなのだろうかと、ある種の危機感のようなものを覚える。彼女が自分自身に正直であるのは、自分自身への囚われであり、執着であり、不安であり、宿命である。

『Episodic memory』

監督:鈴木理利子

武蔵野美術大学/2022/23min



チケット情報

お問い合わせ:tougakusai@gmail.com

080-1342-8521

東学祭HP (<https://tougakusai.jp>)

前売り券 (pass marketにて販売)	大人:1000円	学生:500円
	招待作品	1500円
当日券	大人・学生共に	1500円
	招待作品	1800円

pass market



<https://on.la/FqF5y1g>

会場: EuroLive (ユーロライブ)
アクセス: 渋谷駅から徒歩約10分

名称: 第33回東京学生映画祭
主催: 第33回東京学生映画祭企画委員会
協賛:



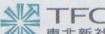
Creator's Agent
since 2009



東急エージェンシー



tvo



東北新社



株式会社

東放学園映画専門学校

後援: 特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション/一般社団法人日本映画テレビ技術協会/
特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO) /一般社団法人日本映画製作者連盟
協力: 有限会社キッチュムムービーコレクション/スタジオ地図 L L P/学習院大学新聞社/
株式会社GYAO/株式会社ビデオマーケット/株式会社ニチホランド/株式会社U-NEXT/東京FILMeX

Aプログラム

8/20
(土)

12:05

ペールから始まる、一人の少女の静謐で豪胆な物語



中学2年生の矢野梓は、祖母・矢野望と2人で静かな暮らしをしている。ある日、梓は虫のタヌクからエウディングペールを見つける。毎日学校帰りに、花屋の前に座っている梓の少女を盗撮している梓だが、ペールの発見以降少女と放課後の時間を共に過ごす仲になっていく。『この花ね、昔、子供が中に直人が隠しておいたんだ』梓は少女に「ほたる」と呼び名をつけ、ファイダーを聴きながらペールを頭に被る彼女の後を追いかける。

『カンパンニュラの少女』

監督:安本末玖

京都芸術大学/2022/45min



Bプログラム

8/20
(土)

15:30

救世主か、それとも悪魔か



「私にとっこてこの世界は、何かもがい物の世界なんですね」
鏡を見ると相手の隠し事、嘘を文字として浮かび上がらせる力を持っている高校2年生、倉田廻麻。
力を手にしてというからとて、いつもの極度な人間不信となってしまった。彼女は、ある日嘘をついた事が無い少女、正羅と出会う。

正羅との交流を通して廻麻は少しづつ心を開いていくが…。

『えんまさん』

監督:鈴木智貴

立命館大学/2022/75min



特別招待作品

8/21
(日)

11:10



『時をかける少女』 数々の映画祭で賞を席巻した

2006/ 98min

高校2年生の夏、真琴(まこと)は、医学部志望の功介(こうすけ)、春に転校してきた千昭(ちあき)といふ二人の同級生と遊び友達として楽しく毎日を過ごしていた。ある日、真琴は、故障した自転車で遭遇した踏切事故の瞬間、時間を跳躍する不思議な体験をする。叔母の芳山和子(よしやまかずこ)に相談すると、それは「タイムリープ」といい、年ごろの少女に「よくあることだ」と言う。真琴は、手に入れたその力をもってない日常の小さな不満や欲望の解消に進んで使い始めるようになった。突然おとずれたバラ色の日々。

ところが、タイムリープできる回数には限度があったのだ—。



細田守 監督

©「時をかける少女」製作委員会2006

応援コメント



城定秀夫

映画監督

昨年度は審査員として、商業映画にはない魅力を持った作品に数多く触れる大変有意義な体験をさせて頂きました。映画を作るのは大変です。お金はもちろん、時として友人や恋人を失ったりもします。それでも人は映画を作り続けるのはなぜなのでしょう? 東京学生映画祭はこの原初の問いに答えようとしている気がします。そして、映画は観客に出会いで初めて映画たりえます。今年も皆さんの映画に素敵な出会いがありますように!

Cプログラム

8/20
(土)

18:20

「なんか夏っぽいことしたくないですか?」

あの日の夜はちょうどだけ特別だった。夏の終わりを目の前にした若者たちの人間模様。予定していた面接が急遽延期になった就活生の山辺とキミ、野球部のマネージャーだった漁子に電話をかける秀一。コンビニでバイト中の健斗とキョーコ。海の近い町で、それぞれの忘れられない一晩が過ぎていく。

『明ける夜に』

監督:堀内友貴

東放学園映画専門学校/2022/95min



Dプログラム

8/21
(日)

13:50

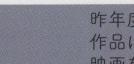
希望をハナクソの毎日

長いこと大都會を彷彿としている直人は、いつも、苦しい少年時代は自分に温かく接してくれた友人のタクミのことを思い出していた。しかし、そのタクミもいつしか跡形もなく直人の生活から消え去ってしまった。それは直人が最も想ひ入れた友人の死であった。直人はタクミを探すために故郷に戻った。記憶の舞台となった場所で、記憶と現実は交錯し、すべてが美しい昔に戻っていくようであった。

『HA・NA・KU・SO』

監督:オダアマネ

東京藝術大学大学院/2022/7min



『蟹眼』

監督:前田青空

日本大学/2022/12min

『蟹眼』

監督:前田青空

日本大学/2022/12min

『蟹眼』

監督:前田青空

日本大学/2022/12min

Eプログラム



ある夏の群像劇。ハナクソみたいな私たちの日々に、ひと笑いのhopeを。

8/21
(日)

13:50

サカナの腹から広がる優しさと愛情



魚の腹の奥底に暮らす、豚、魚、オタマジャクシの三人家族の物語。ある日突然、漂着した果実を皮切りに彼らの暮らしは一変する。

『サカナ島胃袋三腸目』

監督:若林萌

東京藝術大学大学院/2022/17min



Fプログラム



『蟹』の幻覚に溺れていく男と、それを見つめる女の心情を描いたアニメーション作品。多様な質感が混ざり合つ不条理な空間が廻っていくなか、男女の存在が生き生きと躍動する。

『川廻ぐ火葬場』

監督:はるおさき

武蔵野美術大学/2022/13min

『川廻ぐ火葬場』

監督:はるおさき

武蔵野美術大学/2022/13min



家族を亡くし、死を受け入れられない少年と、火葬場でたった一人死と向き合い続けている老人が出会い。川廻ぐ火葬場で、少年と老人はお互いの境遇を重ね合わせていき、死という事実に向向き合い始める。少年が初めて死と向き合うとき、川廻いでいた川が流れ始める。

ゲスト審査員

長編・短編部門



瀬々敬久

映画監督



杉野希妃

映画監督/俳優



三宅隆太

映画監督/脚本家

アニメーション部門



細田守

アニメーション映画監督



岩井澤健治

アニメーション映画監督

応援コメント



磯村勇斗

俳優

映画は人と人を繋ぐ力があると思います。現場で出会う人はもちろん、作品を観て下さったお客様もそうです。映画を通して人間関係が生まれる。とても面白い事であり、大変な事です。でも仲間を信頼して、愛を持って創作する楽しさ。その後には必ず、あなたが作る作品を楽しみにしている人がいます。若い皆さんが出せる「映画の力」で、世界を少しでも変えていきましょう。僕らと共に。